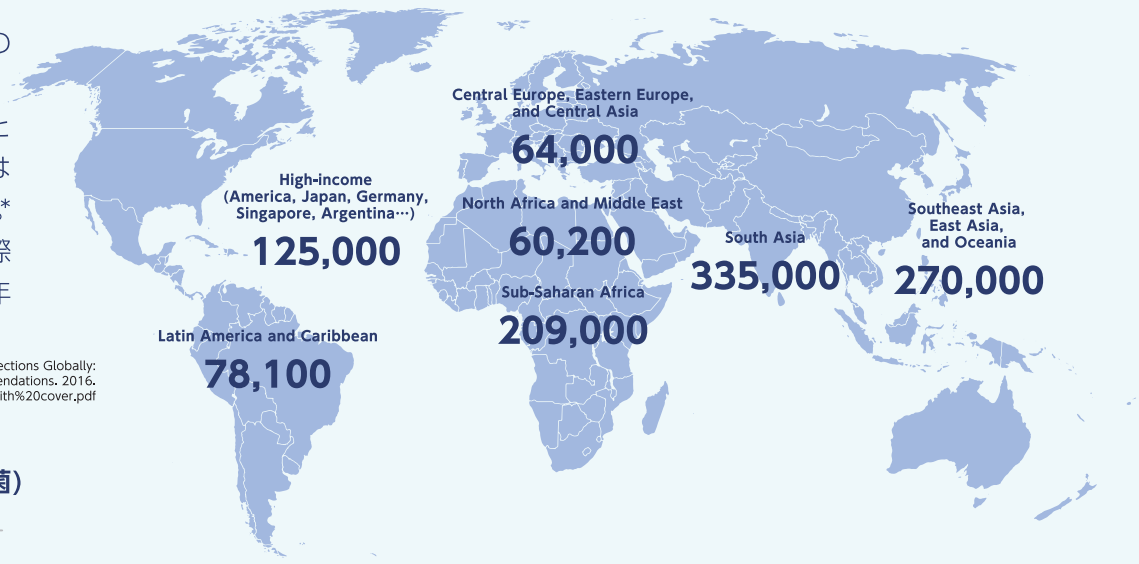
Antimicrobial Resistance

薬剤耐性の脅威を知っていますか？

薬剤耐性とは、抗菌薬を使うことで病原体が変化し、特定の種類の抗菌薬•抗生物質が効かなくなる、効きにくくなることです。
薬剤耐性によって世界では2021年におよそ114万人が死亡していると推計されています。このまま何の対策も講じなければ、約30年後には1,000万人が死亡すると予想され、がんによる死亡者数を上回ります。*
2015年に世界保健機関(WHO)総会において薬剤耐性に関する国際行動計画が採択され、日本でも薬剤耐性問題に取り組むため、2016年に薬剤耐性(AMR)対策アクションプランが策定されました。

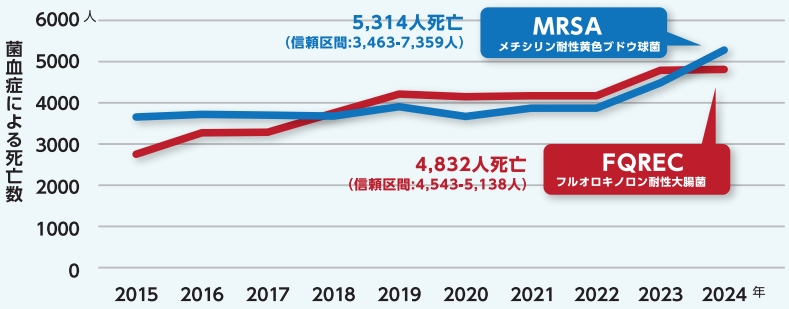
＊O' Neill, J. Review on Antimicrobial Resistance. Tackling Drug-Resistant Infections Globally: Final Report and Recommendations. 2016.
https://amr-review.org/sites/default/files/160525_Final%20paper_with%20cover.pdf



2021年薬剤耐性が直接の原因で世界では114万人が死亡

Global burden of bacterial antimicrobial resistance 1990–2021: a systematic analysis with forecasts to 2050
THE LANCET Volume 404, Issue 10459, p1199-1226, September 28, 2024
https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(24)01867-1/fulltext

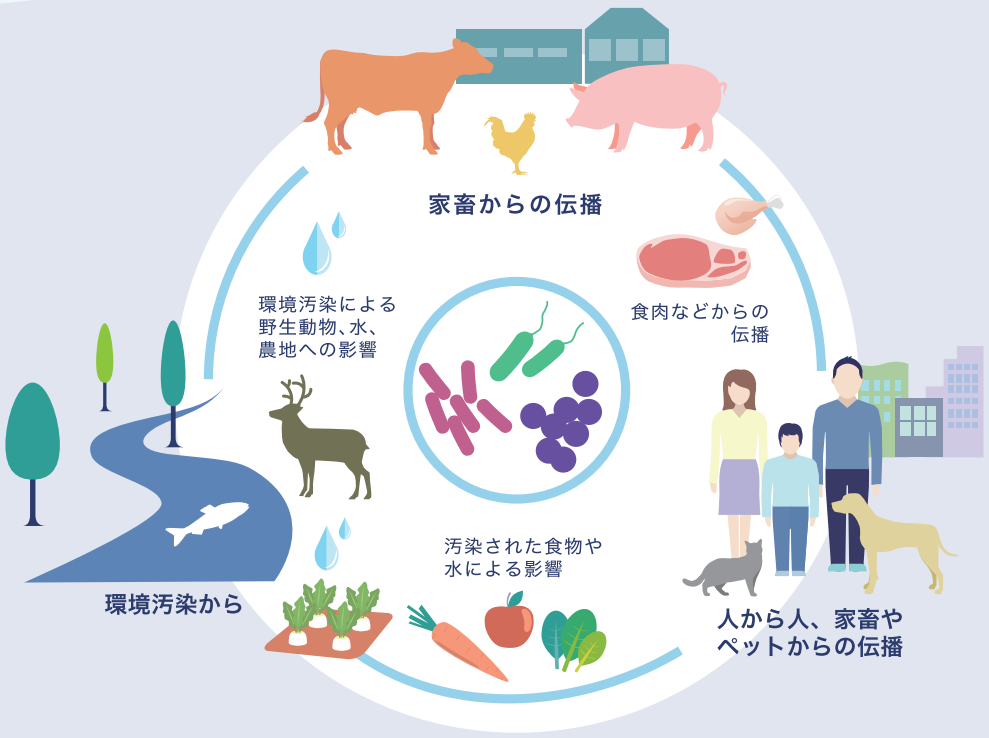
日本では2種類の薬剤耐性菌の菌血症で年間1万人以上が死亡
（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌とフルオロキノロン耐性大腸菌）



薬剤耐性ワンヘルス動向調査年次報告書 2025
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001675600.pdf

薬剤耐性とワンヘルス

抗菌薬は人や動物の医療以外にも、畜産、水産、農産物などあらゆる領域で使われています。薬剤耐性を持つ遺伝子が環境や食品などを介して、人や動物へ伝播する可能性があるともいわれています。
「ワンヘルス」とは、人の健康だけではなく、動物の健康や環境の保全は等しく健全でなければならないという考え方です。わたしたちの周りでは、開発による生態系や、環境の破壊、気候変動による影響、経済や社会的背景などさまざまな課題があります。人、動物、環境に関わるそれぞれの分野の人々が連携し、横断的に課題解決を図っていくことを「ワンヘルス・アプローチ」といいます。わたしたちもワンヘルスの理念に基づいて、社会全体として共に取り組んでいく必要があります。



国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
AMR臨床リファレンスセンター
Antimicrobial Resistance Clinical Reference Center
厚生労働省委託事業

AMR Clinical Reference Center

未来に使える抗菌薬を残すために　薬剤耐性AMR

「かぜをひいたら抗菌薬」というわけではありません

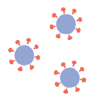
「抗菌薬」はどんな薬？

「かぜっぽいな。お医者さんで抗菌薬をもらって早く治そう…」
そんなふうに思ったことはありませんか。ほとんどのかぜやインフルエンザはウイルスが原因です。抗菌薬は細菌に効く薬なので、ウイルスが原因となる感染症には効果がなく、早く治ることもありません。「**抗菌薬**」は「**抗生剤**」「**抗生物質**」と呼ばれることもあります。

細 菌

大きさ
0.001㎜
細菌による病気
肺炎、中耳炎、膀胱炎など

ウイルス



大きさ
0.00001㎜
ウイルスによる病気
かぜ(感冒)、新型コロナウイルス
インフルエンザ、風疹など

細菌とウイルスは大きさや構造、増え方が違う、まったく異なる病原体です

抗菌薬の効果
ウイルスが原因の
病気には効きません

副作用
下痢・嘔吐・発疹などの
副作用をおこすことがあります

抗菌薬の効果
必要のない抗菌薬の服用は
薬剤耐性菌の発生につながります

症状によって必要な対応は異なります。

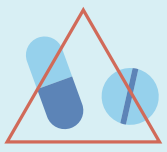
抗菌薬は使い方が大事

かぜ（感冒）

かぜ(感冒)では、はな、のど、せきなどの
さまざまな症状が同時にみられます

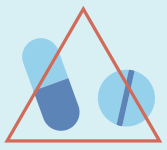
診療を受けた
医師の指示にしたがってください

症状	抗菌薬の使用
はな	**軽症では不要**



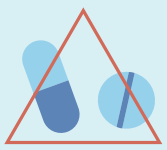
重症度は、患者さんの自覚症状だけで決まるものではなく、医師が総合的に判断します

のど　**A群溶連菌が検出されていない場合は不要**



A群溶連菌は、急性咽頭炎の原因となる細菌の一種です

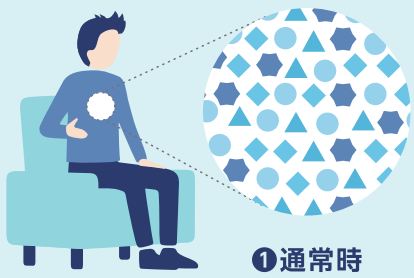
せき　**百日咳を除き成人は不要**



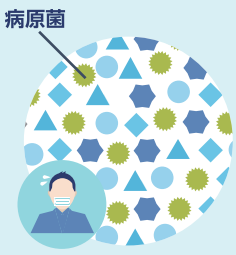
参考文献：厚生労働省「抗微生物薬適正使用の手引き 第二版」対象：成人・学童期以降の小児

抗菌薬が効かないのは薬剤耐性菌が原因かもしれません

薬剤耐性菌が増える過程

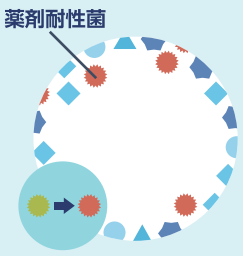


❶通常時
からだの中には害のない
さまざまな細菌が共存し
健康のバランスを保っています

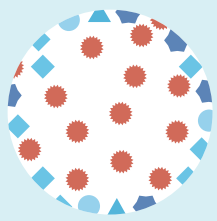


❷感染症発症
病原菌が増えて
感染症を発症します

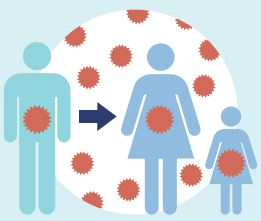
❸薬剤（抗菌薬）治療
病原菌と共に害のない細菌も
退治してしまいます



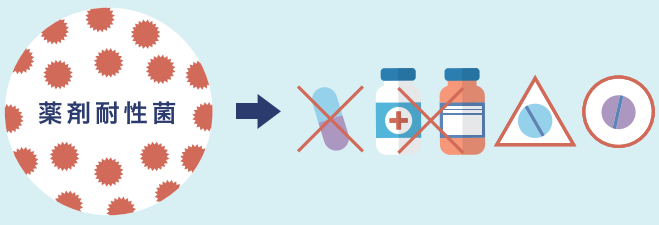
❹薬剤耐性菌が残る
病原菌が変化して生まれた
薬剤耐性菌が生き残ります



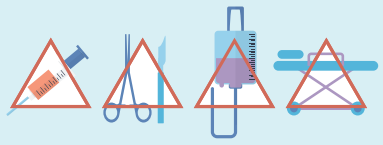
❺薬剤耐性菌が増殖
体内に薬剤耐性菌が
たくさんいる状態になります



❻院内、市中へ
院内などで人から人へ
感染し周囲に広がる恐れが
あります



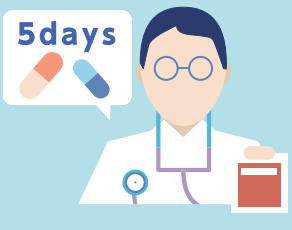
感染症の病気が治りにくくなる
病気に効果が見込まれる薬の種類が少なく
治療が難しくなります



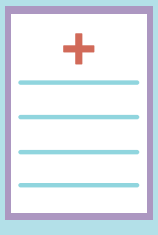
さまざまな医療が困難になる
抗菌薬が効かないと感染症の予防や治療が難しくなり
さまざまな医療を安全に行えなくなります

※いつも薬剤耐性菌に置き換わるわけではありませんが、抗菌薬を使うほどその機会が増えてしまいます。

薬剤耐性の予防策



抗菌薬は医師の指示
通りのみましょう



抗菌薬には医師の
処方箋が必要です

抗菌薬をとっておかない

抗菌薬をあげたりもらったりしない

わからないことは
医師や薬剤師に聞きましょう

感染症を予防することで、
抗菌薬の使用を減らし
薬剤耐性の予防にも繋がります